

## 医師需給検討会スケジュール概要(案)

### 1 検討会開催時期、頻度、回数

- 平成 17 年初めから 18 年 3 月まで
- 原則として月 1 回

### 2 検討内容

- ① 医師需給の現状および要因分析
- ② 今後の見通し予測
- ③ とるべき対応(入学定員及びそれ以外の対応)の提言

### 3 検討にあたって必要な事項

- ① 医師不足分野(特定診療科、特定地域、特定病院)からの意見  
聴取
- ② 厚生科学研究によるデータ収集
- ③ 外国事例及び動向の収集

# 退職医師の再就業支援講習会事業



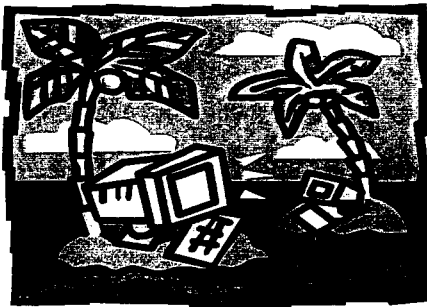
定年退職した医師、中途退職した医師が再就職のため、(社)地域医療振興協会が設置するへき地医療情報センター(仮称)に登録。



第1ステップ(3週間)  
内科、外科、救急、小児科、産婦人科  
精神科、地域保健・医療、整形外科等  
派遣先医療機関のニーズに応じた分野  
を研修。



第2ステップ(1週間)  
・現地の中核的な病院における研修  
・赴任先となるへき地診療所や医師の  
不足病院において引継研修



再就職

○退職医師の再就業支援講習会費

0百万円 → 8百万円

(要旨)

定年退職した医師や中途退職した医師が、再就職先として、へき地や離島などの地域医療に従事したい場合には、へき地医療情報センター（仮称）にその旨の登録を行う。

その後、本人の希望と医療機関の要望とを考慮した上で、再教育研修を実施する。

その研修内容とは、まず、第一ステップとして、内科、小児科、産婦人科など派遣先医療機関のニーズに応じた分野についての研修を行い、次に第二ステップとして、現地の中核的な病院における研修、赴任先となるへき地診療所や医師の不足病院において引継研修を行う。

これらの研修を行った上で、へき地、離島などの地域医療に従事する。

(事業概要)

へき地や離島においては、恒常的な医師不足が大きな社会問題となっているが、医師が当該地域への勤務を敬遠する理由として、

「すべての医療に精通していないため、へき地や離島における診療に対する不安があること」などがある。

へき地や離島などの地域医療に従事する医師の確保を図るため、医療機関を退職した医師に対し、再就業のための再教育事業を実施する。

- |           |                          |
|-----------|--------------------------|
| 1) 受講対象者数 | 20名                      |
| 2) 研修期間   | 第一ステップ…3週間<br>第二ステップ…1週間 |
| 3) 補助先    | 社団法人地域医療振興協会             |
| 4) 補助率    | 定額                       |